

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
株式会社 アスカコーポ レーション	翻訳 サービ ス	38名	<p>女性社員が多いこともあり、以前より、働きやすい職場づくりを目指し、「在宅勤務」や「フレックス」についての規定を定め、部分的に導入していた。</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の交通混雑緩和への寄与を目指して、全社員が在宅勤務ができるような環境整備をすすめていた。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止が緊急かつ重大な課題となり、従業員の安全と社会貢献のために、在宅勤務および時差通勤が一気に進んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テレワーク環境の整備（社員へのモバイルPC等の貸与、アクセス環境の整備等）</li> <li>• 会社の携帯電話を持たない社員にもIP電話番号を付与</li> <li>• Web会議システムの活用の拡大（会議やセミナーのWeb化）</li> <li>• テレワークを可能とするための社内手続き等における書類の削減</li> <li>• 出社が必要な際は時差勤務を推奨</li> <li>• 在宅勤務時の時差勤務</li> <li>• コロナ手当ということで、在宅勤務の経費補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社員アンケートの結果、ワークライフバランスが取りやすくなった、通勤にストレスを感じることなく勤務ができる、集中して仕事ができるなど肯定的な意見が得られた。</li> <li>• 余儀なく全社員が在宅勤務に移行した際にも大きな混乱をきたすことなく事業を継続することができた。</li> <li>• 新型コロナウイルス感染拡大下における通勤や出社時の接触機会低減による感染防止、健康確保等につながった。</li> <li>• 脱ハンコ、ペーパーレス化が加速し、経費の削減、手続きの簡略化が進んだ。</li> </ul>